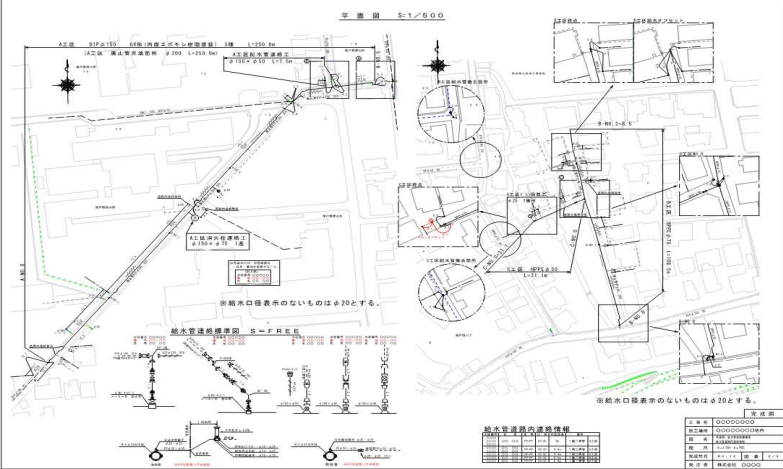
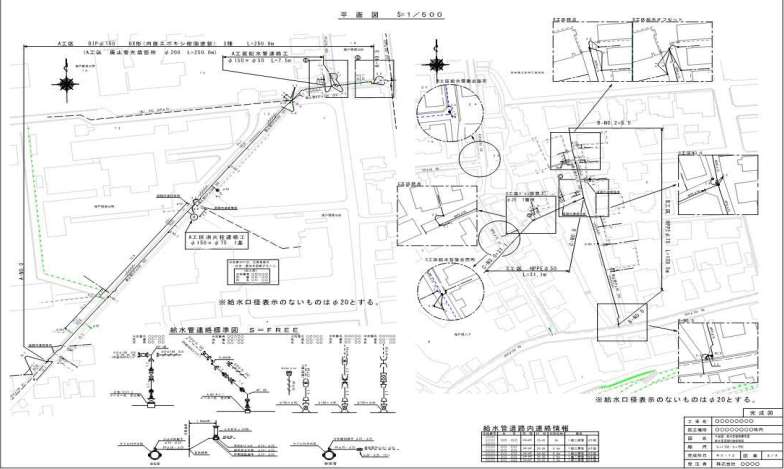


配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和7年10月施行）

	改訂案	現 行
P1	1 施行計画書作成要領	P1 1 施行計画書作成要領
	2 実施工程図	2 実施工程表
P2	1 1 安全衛生管理組織図 総括安全衛生管理担当者	P2 1 1 安全衛生管理組織図 総括安全衛生担当者
P2	1 3 環境対策（作業環境・現場事務所・工事現場のイメージアップ・熱中症対策等）	P2 1 3 環境対策（作業環境・現場事務所・工事現場のイメージアップ等）
P2	1 4 その他（添付書類） (1) 現場代理人経歴書 (2) 監理技術者（監理技術者資格者）経歴書 主任技術者（一・二級土木施工管理技士）経歴書 (3) 専門技術者経歴書 (4) 配管技士資格証写（鮮明なもの） (5) 車両系建設機械免許証写（鮮明なもの） (6) 地山の掘削作業主任者写（鮮明なもの） (7) 土留の支保工作業主任者写（鮮明なもの） (8) 小型移動式クレーン運転技能講習修了証写（鮮明なもの） (9) 玉掛技能講習修了証写（鮮明なもの） (10) 工事施行届 (11) 工事請負契約書写 (12) 道路占用許可申請書写、道路使用許可書写 (13) 地下埋設物確認書 (14) 土留標準図 (15) 現場事務所位置図	P2 1 4 その他（添付書類） (1) 現場代理人経歴書 (2) 監理技術者（監理技術者資格者）経歴書 (3) 主任技術者（一・二級土木施工管理技士）経歴書 (4) 専門技術者経歴書 (5) 配管技士資格証写（鮮明なもの） (6) 車両系建設機械免許証写（鮮明なもの） (7) 地山の掘削作業主任者写（鮮明なもの） (8) 土留の支保工作業主任者写（鮮明なもの） (9) 小型移動式クレーン運転技能講習修了証写（鮮明なもの） (10) 玉掛技能講習修了証写（鮮明なもの） (11) 工事施行届 (12) 工事請負契約書写 (13) 道路占用許可申請書写、道路使用許可書写 (14) 地下埋設物確認書 (15) 土留標準図 (16) 現場事務所位置図

配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和7年10月施行）

改訂案		現 行	
P4	(16)残土、産業廃棄物処分場位置図および許可証 (17)工事標示板位置図、および詳細図 (18)施工体系図、施工体制台帳、作業員名簿等 施工計画書作成時の留意事項 1 1 安全衛生組織図 適切に担当者、主任等が配置されているか。 1 2 再生資源の利用の促進 1 3 環境対策・現場作業環境対策 (3) 熱中症のおそれがある工事従事者が生じた場合の報告体制の整備および必要な措置の実施手順は適切か。	P4	(17)残土、産業廃棄物処分場位置図および許可証 (18)工事標示板位置図、および詳細図 (19)施工体系図等 施工計画書作成時の留意事項 1 1 再生資源の利用の促進 1 2 環境対策・現場作業環境対策
P7	2 完成図作成要領 5 図面の構成 (3) 平面図 ケ (イ) ドレンの吐出口が見えない場合。		
P8	(4) 配管詳細図 キ 既設管（鉄管類）を不断水せん孔、又は切落した場合は、その内面状態、布設年度、形式を記入する。	P8	(4) 配管詳細図 キ 既設管（鉄管類）を不断水せん孔、又は切落した場合は、その内面状態を記入する。
P10	平面図 ドレンオフセットを記載、図面修正 	P10	

配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和7年10月施行）

改訂案

現 行

P12 配管記号図

配管記号図

材 料 名	配 管 記 号	材 料 名	配 管 記 号
ダクタイル鋳鉄管 K形継手		逆止弁	N
ダクタイル鋳鉄管 NS形継手		空気弁	--(A)--
ダクタイル鋳鉄管 GX形継手		緊急遮断弁	--(E)--
ダクタイル鋳鉄管 A形継手		減圧弁	--(R)--
水道用ゴム輪形耐衝 撃性硬質塩化ビニル 管		安全弁	--(S)--
フランジ		応急給水栓	
メカ栓 (プラグ付き)		ドレン	--(D)--
フランジ栓		流量計	--(F)--
伸縮可とう管 (フランジタイプ)		自記録水圧計	--(W)--
ドレッシングジョイント		ポンプ	--(P)--
仕切弁		消火栓	
バタフライ弁		不断水割T字管セン孔 用バルブ付フランジ型	
不断水仕切弁		不断水割T字管セン孔 用バルブ付ネジ込式	
不断水栓		不断水割T字管 フランジ型	

P12

配管記号図

材 料 名	配 管 記 号	材 料 名	配 管 記 号
ダクタイル鋳鉄管 K形継手		逆止弁	N
ダクタイル鋳鉄管 NS形継手		空気弁	--(A)--
ダクタイル鋳鉄管 GX形継手		緊急遮断弁	--(E)--
ダクタイル鋳鉄管 A形継手		減圧弁	--(R)--
水道用ゴム輪形耐衝 撃性硬質塩化ビニル 管		安全弁	--(S)--
フランジ		応急給水弁	--(Q)--
メカ栓 (プラグ付き)		排水管	--(D)--
フランジ栓		流量計	--(F)--
伸縮可とう管 (フランジタイプ)		自記録水圧計	--(W)--
ドレッシングジョイント		ポンプ	--(P)--
仕切弁		消火栓	
バタフライ弁		不断水割T字管セン孔 用バルブ付フランジ型	
不断水仕切弁		不断水割T字管セン孔 用バルブ付ネジ込式	
不断水栓		不断水割T字管 フランジ型	

配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和7年10月施行）

改訂案

現 行

P15 離脱防止内蔵継手削除

配管記号図

材 料 名	配 管 記 号	材 料 名	配 管 記 号
ゴム輪形短管片落 (離脱防止付フランジ形)		特殊両跨短管 (曲管90°)	
VP用三受チーズ		PP用パイプエンド	
VSジョイント (VPとVP、VPとSG P、離脱防止継手付)			
VCジョイント (VPとDIP・離脱防止 継手付)			
RR形継手 (離脱防止継手使用)			
一体型仕切弁RR形 (FCD)			
PD短管1号L形			
PD片落管 (抜止付メカ挿し形)			
PD片落管 (抜止付フランジ形)			
サドル付分水栓			
PP用カップリング			
ボール式固定止水栓			
PP用回転継手			
PPソケット			
3Fチーズ			
両跨短管			
特殊両跨短管 (乙字管)			

15

P18

- 4 仕切弁支距図作成要領
4 図面の構成
(2) 平面図
シ 型式の記入は次のとおりとする。
(ウ) ソフトシール弁 (フランジ形)

P15

配管記号図

材 料 名	配 管 記 号	材 料 名	配 管 記 号
ゴム輪形短管片落 (離脱防止付フランジ形)		特殊両跨短管 (曲管90°)	
VP用三受チーズ		PP用パイプエンド	
VSジョイント (VPとVP、VPとSG P、離脱防止継手付)		曲管90° (離脱防止内蔵継手)	
VCジョイント (VPとDIP・離脱防止 継手付)		曲管45° (離脱防止内蔵継手)	
RR形継手 (離脱防止継手使用)		曲管22 1/2° (離脱防止内蔵継手)	
一体型仕切弁RR形 (FCD)		曲管11 1/4° (離脱防止内蔵継手)	
PD短管1号L形		短管1号 (離脱防止内蔵継手)	
PD片落管 (抜止付メカ挿し形)		両受片落管 (離脱防止内蔵継手)	
PD片落管 (抜止付フランジ形)		乙字管(受・挿) (離脱防止内蔵継手)	
サドル付分水栓		乙字管(受・受) (離脱防止内蔵継手)	
PP用カップリング		チーズ3型 (離脱防止内蔵継手)	
ボール式固定止水栓		チーズP型 (離脱防止内蔵継手)	
PP用回転継手			
PPソケット			
3Fチーズ			
両跨短管			
特殊両跨短管 (乙字管)			

15

P18

- 4 仕切弁支距図作成要領
4 図面の構成
(2) 平面図
シ 型式の記入は次のとおりとする。
(ウ) ソフトシール弁

配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和7年10月施行）

改訂案

現 行

P33 6 工事記録写真撮影要領
6 写真の整理
(7) 工種、**管理測点**毎に見出しをつけて整理すること。

P41 表－1 工事記録写真撮影一覧表

施工区分	工 種	撮 影 の 対 象	撮影箇所・回数
管布設工	管布設工（BPE の場合）	①砂基礎施工状況（基礎厚確認） ②明示テープ貼付状況 ③融着面切削状況（切削面のマスキング含む） ④管融着面・ソケット内面清掃状況 ⑤クランプ設置状況 ⑥融着状況（コントローラー設置状況含む） ⑦インジケータ確認状況 ⑧通電終了時刻、冷却終了時刻、日付記入状況 ⑨融着完了状況（クランプ取り外し後状況） ⑩管据え付け状況 ⑪土盛りおよび境界からの離れの出来形寸法の確認 ⑫管切断状況（管切断寸法の確認） ⑬異形管布設状況 ⑭メカニカル継手接合状況（イナーツァ設置状況含む） ⑮仕切弁・弁きょう設置状況 ⑯既設管との連絡状況 ⑰他事業者所有管との近接状況 ⑱水圧試験状況 ⑲洗管状況（ポリビツク等による）	①～⑩は管理測点ごと（1箇所／100m） ⑪は管理測点ごと（1箇所／50m） ⑫～⑲は実施箇所ごと
	埋戻工	埋戻状況（埋戻材出来形寸法の確認）、埋設シートの敷設状況	管理測点ごと（1箇所／50m）
	路盤工	一層毎に敷均し・転圧状況（厚さ確認）	
	舗装仮復旧工	仮舗装の厚さの確認	管理測点ごと（1箇所／100m）
管布設工	廃止管充填箇所	① 施工前袋数確認状況 ② 充填材作成状況 ③ 比重値測定状況 ④ フロー値測定状況 ⑤ 充填状況 ⑥ 施工後袋数確認状況 ⑦ 充填用配管撤去状況	実施箇所ごと
弁室等の築造工・その他の構造物築造工	土留工、基礎工、鉄筋工、型枠工、コンクリート工、配水管布設工	①床掘（掘削）断面の出来形寸法の確認 ②クラッシャーランの幅、厚さの確認 ③コンクリート構造物の幅、長さ、厚さの出来形寸法の確認 ④鉄筋の径別配筋状況 ⑤型枠の据付状況 ⑥配管状況 ⑦コンクリート打設状況 ⑧コンクリートのスランプ等試験状況 ⑨コンクリートの強度試験状況 ⑩埋戻状況（埋戻材出来形寸法の確認） ⑪完成状況（全景） 舗装版の切断等は「配水管布設工」に準拠	実施箇所ごと
	管防護工	「弁室等の築造工・その他の構造物築造工」に準拠	

P33 6 工事記録写真撮影要領
6 写真の整理
(7) 工種毎に見出しをつけて整理すること。

P41 表－1 工事記録写真撮影一覧表

施工区分	工 種	撮 影 の 対 象	撮影箇所・回数
管布設工	管布設工（BPE の場合）	①砂基礎施工状況（基礎厚確認） ②明示テープ貼付状況 ③融着面切削状況（切削面のマスキング含む） ④管融着面・ソケット内面清掃状況 ⑤クランプ設置状況 ⑥融着状況（コントローラー設置状況含む） ⑦インジケータ確認状況 ⑧通電終了時刻、冷却終了時刻、日付記入状況 ⑨融着完了状況（クランプ取り外し後状況） ⑩管据え付け状況 ⑪土盛りおよび境界からの離れの出来形寸法の確認 ⑫管切断状況（管切断寸法の確認） ⑬異形管布設状況 ⑭メカニカル継手接合状況（イナーツァ設置状況含む） ⑮仕切弁・弁きょう設置状況 ⑯既設管との連絡状況 ⑰他事業者所有管との近接状況 ⑱水圧試験状況 ⑲洗管状況（ポリビツク等による）	①～⑩は管理測点ごと（1箇所／100m） ⑪は管理測点ごと（1箇所／50m） ⑫～⑲は実施箇所ごと
	埋戻工	埋戻状況（埋戻材出来形寸法の確認）、埋設シートの敷設状況	管理測点ごと（1箇所／50m）
	路盤工	一層毎に敷均し・転圧状況（厚さ確認）	
	舗装仮復旧工	仮舗装の厚さの確認	管理測点ごと（1箇所／100m）
管布設工	廃止管充填箇所	① 施工前袋数確認状況 ② 充填材作成状況 ③ 比重値測定状況 ④ フロー値測定状況 ⑤ 施工後袋数確認状況 ⑥ 硬化後確認状況（切断による確認）	実施箇所ごと
弁室等の築造工・その他の構造物築造工	土留工、基礎工、鉄筋工、型枠工、コンクリート工、配水管布設工	①床掘（掘削）断面の出来形寸法の確認 ②クラッシャーランの幅、厚さの確認 ③コンクリート構造物の幅、長さ、厚さの出来形寸法の確認 ④鉄筋の径別配筋状況 ⑤型枠の据付状況 ⑥配管状況 ⑦コンクリート打設状況 ⑧コンクリートのスランプ等試験状況 ⑨コンクリートの強度試験状況 ⑩埋戻状況（埋戻材出来形寸法の確認） ⑪完成状況（全景） 舗装版の切断等は「配水管布設工」に準拠	実施箇所ごと
	管防護工	「弁室等の築造工・その他の構造物築造工」に準拠	

配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和7年10月施行）

改訂案

現 行

P44 参考－6． 8 工事記録写真

P44 参考－6． 8

参考－6． 8

目 的

配水管整備工事等において、工事記録と工事完了後の出来形管理の資料とするため、工事記録写真の撮影および整理について、基本的な事項を定めるものである。なお、写真は下図内の番号順に並べて編集することを標準とする。

着工前 No. ○	1	1	完 成 No. ○
同 上 No. ○	1	1	同 上 No. ○
仮設設備設置工 安全対策 ○○状況	2	3	仮設設備設置工 ○○状況

No. ○ 試験掘工 ○○状況	4 (省略可)	7	コンクリート設処理工 舗装版処理工 ○○状況 自重計の確認状況 (1日1回)
管布設工 洗管状況	5	8	残土処理工 ○○状況 自重計の確認状況 (1日1回)
管布設工 水圧試験状況	6	9	材料保管状況確認 段階確認状況 (未掘・配管状況、 距離密度、廃止管充 填フロー、比重、充 填材前後)、社内検査

- (1) 着工前と完成写真は、同じ撮影位置のものを左右に配置し対比できるように編集すること。また、着工前写真には管布設位置がわかるように赤線を入れること。
- (2) 各状況写真は、工事記録写真撮影一覧表による。
- (3) 舗装版処理工、残土処理工、コンクリート設処理工は、積み込み状況 → (仮置状況) → 運搬状況 → 処理場の状況（投棄場所が確認できるもの）各1回。
- (4) 試験掘工については、各施工箇所地下埋設物の埋設位置が確認できるものと掘削幅、延長、深さを撮影する。掘削から仮復旧までの一連の写真は1工事1箇所程度とする。

なお、工事写真帳への紙出力は省略できるものとする。

- (5) 1工区の工事延長が750mを超える場合、監督員の指示により管理測点における一連の写真管理を100mから150mごとに変更することができる。

参考－6． 8

目 的

配水管整備工事等において、工事記録と工事完了後の出来形管理の資料とするため、工事記録写真の撮影および整理について、基本的な事項を定めるものである。なお、写真は下図内の番号順に並べて編集することを標準とする。

着工前 No. ○	1	1	完 成 No. ○
同 上 No. ○	1	1	同 上 No. ○
仮設設備設置工 安全対策 ○○状況	2	3	仮設設備設置工 ○○状況

No. ○ 試験掘工 ○○状況	4	7	コンクリート設処理工 舗装版処理工 ○○状況 自重計の確認状況 (1日1回)
管布設工 洗管状況	5	8	残土処理工 ○○状況 自重計の確認状況 (1日1回)
管布設工 水圧試験状況	6	9	材料保管状況確認 段階確認状況 (未掘・配管状況、 距離密度、廃止管充 填等)、社内検査

- (1) 着工前と完成写真は、同じ撮影位置のものを左右に配置し対比できるように編集すること。また、着工前写真には管布設位置がわかるように赤線を入れること。
- (2) 各状況写真は、工事記録写真撮影一覧表による。
- (3) 舗装版処理工、残土処理工、コンクリート設処理工は、積み込み状況 → (仮置状況) → 運搬状況 → 処理場の状況（投棄場所が確認できるもの）各1回。
- (4) 試験掘工については、各施工箇所地下埋設物の埋設位置が確認できるものと掘削幅、延長、深さを撮影する。掘削から仮復旧までの一連の写真は1工事1箇所程度とする。

なお、工事写真帳への紙出力は省略できるものとする。

- (5) 1工区の工事延長が750mを超える場合、監督員の指示により管理測点における一連の写真管理を100mから150mごとに変更することができる。

配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和7年10月施行）

改訂案

現 行

P46 工事記録写真

No. ○ 管布設工 配管状況	22	25	No. ○ 土留工 水葎工
No. ○ 仕切弁設置状況 弁きょう設置状況	23	26	No. ○ 舗装工 〇〇状況 舗装復旧完了
〇〇配水管連絡工 配管状況 より対一 被覆状況	24		

No. ○ 舗装取切断工 出来形測定 舗装取切断幅の確認 設計値 ○=〇〇 実測値 ○=〇〇 (A, B)	27	30	No. ○ 埋戻工 再生砂・山砂 出来形測定 設計値 ○=〇〇 実測値 ○=〇〇 (H=C-h)
同上 機械未掘工 出来形測定 設計値 ○=〇〇 実測値 ○=〇〇 (C)	28	31	同上 路盤工 RC-40、C-40 出来形測定 設計値 ○=〇〇 実測値 ○=〇〇 (g)
同上 管布設工 出来形測定 設計値 ○=〇〇 実測値 ○=〇〇 (J, K)	29	32	同上 仮復旧工 出来形測定 設計値 ○=〇〇 実測値 ○=〇〇 (e)

- (1) 舗装工は、各管理ポイントの最後にとじ、工事記録写真撮影一覧表に従い撮影すること。
- (2) 床掘工（A・B・C値）、管布設工（J・K値）、埋戻工（H・G値）、仮復旧工（e値）、舗装工（D値）の出来形寸法測定を行う。黒板の記入ミスがないようにすること。
- (3) スタッフ、ピンボールの使い分けをしっかりと適切な位置に黒板を置き撮影すること。
- (4) 水葎工、土留工を実施した場合は、各管理ポイントの後ろにとじること。

P46

No. ○ 管布設工 配管状況	22	25	No. ○ 土留工 水葎工
No. ○ 仕切弁設置状況 弁きょう設置状況	23	26	No. ○ 舗装工 〇〇状況 舗装復旧完了
〇〇配水管連絡工 配管状況 より対一 被覆状況	24		

No. ○ 舗装取切断工 出来形測定 舗装取切断幅の確認 設計値 ○=〇〇 実測値 ○=〇〇	27	30	No. ○ 埋戻工 再生砂・山砂 出来形測定 設計値 ○=〇〇 実測値 ○=〇〇
同上 機械未掘工 出来形測定 設計値 ○=〇〇 実測値 ○=〇〇	28	31	同上 路盤工 RC-40、C-40 出来形測定 設計値 ○=〇〇 実測値 ○=〇〇
同上 管布設工 出来形測定 設計値 ○=〇〇 実測値 ○=〇〇	29	32	同上 仮復旧工 出来形測定 設計値 ○=〇〇 実測値 ○=〇〇

- (1) 舗装工は、各管理ポイントの最後にとじ、工事記録写真撮影一覧表に従い撮影すること。
- (2) 床掘工（A・B・C値）、管布設工（J・K値）、埋戻工（H・G値）、仮復旧工（e値）、舗装工（D値）の出来形寸法測定を行う。黒板の記入ミスがないようにすること。
- (3) スタッフ、ピンボールの使い分けをしっかりと適切な位置に黒板を置き撮影すること。

配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和7年10月施行）

改訂案

現 行

P47 工事記録写真

No. 〇 舗装工 出来形確認 無装板確認 設計値 〇=〇〇 実測値 〇=〇〇 (1) 同上 舗装工 出来形確認 無装板確認 設計値 〇=〇〇 実測値 〇=〇〇 (D) (G) (G-C-H-D)	33	
	34	

※ 管布設工と舗装工は、工区分けし、管理測点毎にNo.10～No.34 までを1つにまとめて整理する。
ただし、監督員が整理方法を別に指示する場合は、その指示に従うこと。

No. 〇 消火栓連絡工 〇〇状況 〇〇完了	35	38	廃止管充填状況 充填材作成状況 充填用配管撤去状況
No. 〇 仮設箇所 〇〇状況	36	39	〇〇給水管連絡工 〇〇状況 〇〇完了
No. 〇 撤去箇所 〇〇状況	37		

- (1) 消火栓、給水管連絡工は、工事記録写真撮影一覧表に従い、管布設工と同じ要領で撮影し整理すること。
- (2) その他の施工については、説明欄に施工区分を明示し工事記録写真撮影一覧表に従い工事着工前、工事完成、作業の順序に従って管布設工と同じ 要領で撮影し整理すること。

P47

No. 〇 舗装工 舗装板確認 設計値 〇=〇〇 実測値 〇=〇〇	33	
同上 舗装工 舗装板確認 設計値 〇=〇〇 実測値 〇=〇〇	34	

※ 管布設工と舗装工は、工区分けし、管理測点毎にNo.10～No.34 までを1つにまとめて整理する。
ただし、監督員が整理方法を別に指示する場合は、その指示に従うこと。

No. 〇 消火栓連絡工 〇〇状況 〇〇完了	35	38	廃止管充填状況 充填材作成状況 硬化後確認状況
No. 〇 仮設箇所 〇〇状況	36	39	〇〇給水管連絡工 〇〇状況 〇〇完了
No. 〇 撤去箇所 〇〇状況	37		

- (1) 消火栓、給水管連絡工は、工事記録写真撮影一覧表に従い、管布設工と同じ要領で撮影し整理すること。
- (2) その他の施工については、説明欄に施工区分を明示し工事記録写真撮影一覧表に従い工事着工前、工事完成、作業の順序に従って管布設工と同じ 要領で撮影し整理すること。

配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和7年10月施行）

改訂案	現 行
P109 参考 断水のお知らせ 参 考 断 水 の お 知 ら せ 月 日 () 時から 月 日 () 時まで 秋田市 (地 区 名) で断水工事を行います。 水道工事に伴い、お客さまの水道が上記日時に断水となります。 断水時間帯は、濁り水の原因となりますので絶対に水道を使用しないでください。 - 断水時間帯に水道を使用すると、濁り水を宅内に引き込み、温水器等の故障の原因となります。 - 飲み水やトイレを流す水は、お手数ですが、あらかじめお汲み置きください。 - 工事終了後、濁り水が発生することがありますが、少し流していただくときれいになります。 ※白濁水は水道水に空気が溶け込んだ現象で、静置しておくと3～5分くらいでト層から透明になってきますので、この水を飲用しても何ら支障ありません。 - 工事中、騒音等ご迷惑をおかけいたします。 - 工事の都合で予定時間が変更になることもございますが、ご理解とご協力をお願いします。  大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。 お問い合わせ先 秋田市上下水道局 (課 係) 担 当 T E L (昼) T E L (夜) 施工業者 現場代理人 T E L 上下水道局マスコットキャラクター「カンちゃん」(水乃環太郎) ※ゼンリン住宅地図は、著作物であるため無断使用は厳禁です。局の地形図から個人情報を除いて使用すること。 注1. 縮尺1/2, 500またはこれにかわる工事箇所図を添付すること。 注2. 配布前に内容と添付図について、監督員の確認を受けること。	P109 参考 断水のお知らせ 参 考 断 水 の お 知 ら せ 月 日 () 時から 月 日 () 時まで 秋田市 (地 区 名) で水道工事を行います。 水道工事に伴い、お客さまの水道が上記日時に断水となります。 断水時間帯は、濁り水の原因となりますので絶対に水道を使用しないでください。 - 断水時間帯に水道を使用すると、濁り水を宅内に引き込み、温水器等の故障の原因となります。 - 飲み水やトイレを流す水は、お手数ですが、あらかじめお汲み置きください。 - 工事終了後、濁り水が発生することがありますが、少し流していただくときれいになります。 ※白濁水は水道水に空気が溶け込んだ現象で、静置しておくと3～5分くらいでト層から透明になってきますので、この水を飲用しても何ら支障ありません。 - 工事中、騒音等ご迷惑をおかけいたします。 - 工事の都合で予定時間が変更になることもございますが、ご理解とご協力をお願いします。  大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。 お問い合わせ先 秋田市上下水道局 (課 係) 担 当 T E L (昼) T E L (夜) 施工業者 現場代理人 T E L 上下水道局マスコットキャラクター「カンちゃん」(水乃環太郎) ※ゼンリン住宅地図は、著作物であるため無断使用は厳禁です。局の地形図から個人情報を除いて使用すること。 注1. 縮尺1/2, 500またはこれにかわる工事箇所図を添付すること。 注2. 配布前に内容と添付図について、監督員の確認を受けること。